

令和4年度 第4回 政策決定会議 会議録②

-
- ◆開催日時：令和4年10月28日（金） 13：00～13：15
 - ◆開催場所：市長公室
 - ◆出席委員：永野市長、堤副市長、戎井副市長、大下教育長
 - ◆説明者：西川総合政策部長、貝口企画課長、中井政策担当長、前田主任
松下まちづくり推進部長、山田都市計画課長、藤井都市計画担当参事
-

◆審議事項

将来ビジョン・岸和田 基本構想案、基本計画案及び都市計画マスタープラン案について
・・・企画課・都市計画課⇒承認

◆審議概要

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて、本件原案のとおり承認された旨、報告。

◎報告後、質疑応答

〈堤副市長〉行政計画とは、行政が向かうべき目標とその方法を示したものであるが、総合計画は各部局が策定する個別の計画とは異なり、全体像を示すものである。総合計画策定手続きも終盤だが、策定で終わりではなく、いかに実現していくかが重要。具体的な手法は書いていないので、各部局には、フレキシブルな動きや予算などを十分に考慮しながら実現に向けて取り組むように伝えること。また、人員等限りある資源の中で工夫しながら取り組んでほしい。

都市計画マスタープランの実現についても、今後の行政の取り組み方次第で変わってくるため、職員のやる気が影響する。とりわけ都市構造を変えていくことについて議論してきたが、それには相当な時間もお金もかかる。岸和田市の輝く未来像を都市計画マスタープランではっきり提示し、国が積極的な経済対策を進めている今のうちに、海から山まで連携した都市構造、基盤整備に一刻も早く着手し動き出すこと。先日の大阪府議会で、吉村知事も大阪府は東京と並び世界と戦える都市になる必要があり、まだまだ力をつけていかなければならないという答弁をしていた。岸和田市も力をつけて大阪府の一員として貢献できるように、世界と戦っていく気概で計画を実行すること。

〈戎井副市長〉10月19日に大阪府ゼロカーボンファウンデーションの代表理事に来ていただき、ご講演いただいた。これから国の補助金を活用していく必要がある中、高い補助率になるのは先行地域である。現在堺市が認められているが、認定されるためには、まちづくりの観点から脱炭素を掲げ、まちづくりの段階で脱炭素に取り組むという計画を立てていくことが必要。そのために行政としての高い指導力が必要になる。「脱炭素＝まちづくり」というふうにしていかないと先進的な取組にはなり得ないので、具体的に検討していくこと。

〈教 育 長〉 実行していくことが大切。今までとは異なった新しいことにチャレンジするという気持ちで、壁にぶつかっても諦めず、どうすればできるのかを職員と一緒に考えていきたい。12年の計画なので、毎年の進捗管理をしっかり行うことが重要。

〈市 長〉 民間と比べた市役所の強みは、腰を据えて取り組めること。ただ、基礎自治体は、ゼロカーボンやSDGs、万博など大きな世の中の潮流に疎いと感じる。大阪府と岸和田市は別物だと切り離すのではなく、IRや万博を一つのきっかけとして世界都市大阪を共につくっていく。また、ヨーロッパではゼロカーボンを全力で進めている。世界の潮流を敏感に感じつつ、腰を据えてしっかりとした取り組みを進めていくこと。

〈総合政策部長〉 本案件について、原案のとおり承認してほしいか。

【異議なし】

⇒本件を原案のとおり承認する。

令和4年 10 月 21 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	将来ビジョン・岸和田 基本構想案、基本計画案及び都市計画マスタープラン案について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	令和5年度スタートの将来ビジョン・岸和田 基本構想案について、令和4年第4回定例会に上程してよろしいか。また、基本計画案についても策定してよろしいか。 また、都市計画マスタープラン案については、都市計画審議会にて意見聴取を行うとともに、パブリックコメントの実施について付議するものです。
説明者	貝口 企画課長、中井 政策担当長、前田 主任、上田 担当員 山田 都市計画課長、藤井 都市計画担当特命参事
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和4年度 第4回会議
付議事項	将来ビジョン・岸和田 基本構想案、基本計画案及び都市計画マスタープラン案について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	将来ビジョン・岸和田は、市制施行100周年を経て、次の”新しい岸和田づくり”をめざし、安心していつまでも住み続けることができる、個性豊かで魅力的なまちであるために、「笑顔にあふれ、誰もが”幸せ”を感じる都市」の実現を基本理念とします。市民や行政など様々な人が互いに協力しあい、総合計画に描いた将来像に向かってまちづくりを進めていきます。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	①行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

第4次総合計画では、21世紀型の新しい仕組みづくりとして、市民参加、地域経営の視点から、岸和田市自治基本条例の理念を具体化する役割を担う「市民みんなの総合計画」として位置付け、積極的な市民参加による総合計画の策定を実施してきた。将来ビジョン・岸和田では、都市経営の向上をめざし、市民参加による策定過程を重視した計画づくりとするとともに、まちづくり主体者の新たな連携の創出や多様な資源の活用など、少子、高齢社会における持続可能な地域づくりのための「みんなの総合計画」として策定を進めてきた。今回、基本構想案については、令和4年第4回定例会に議案とする予定である。

また、都市計画マスタープラン案については、都市計画審議会にて意見聴取を行うとともに、パブリックコメントを実施し、令和5年1月の都市計画審議会にて諮問を行う予定である。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
とことん懇話会の開催、基礎調査、アンケート調査、団体ヒアリング等の運営補助委託費【～令和3年3月末】	12,815	12,815						
とことん懇話会の開催、庁内検討会議及び総合計画審議会運営、地区説明会の開催等運営補助及び計画書の作成委託費【令和3年4月～令和5年1月末】		10,538	9,999					
次期総合計画印刷、配布、広報【令和5年1月～令和5年3月末】			2,833					
総合計画の進行管理	16	16	16	16	16	16	16	16
都市計画マスタープラン基礎資料及び策定支援委託費	1,920	2,260	1,400					
都市計画マスタープラン印刷、広報【令和5年3月～4月頃】			850					
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	14,751	25,629	15,098	16	16	16	16
	その他							
事業費			計	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
			80	16	16	16	16	16

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
有					
	(無)				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	目標値				
					R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
① 市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	%	10	7.6						
② 市役所は目標の達成に向け、計画的に施策を推進していると感じている市民の割合	%	14.4	11.7						

※事業費及び人員を確約するものではない。